

令和3年度大野市スポーツ推進計画策定委員会（第3回会議録）

- 日時 令和3年11月2日（火）午後7時～8時10分
- 会場 エキサイト広場総合体育施設 会議室

1 開会あいさつ（委員長）

2 議事

（1）大野市スポーツ推進計画の草案について

⇒事務局から資料に基づき説明。

【委員長】 P10 の、スポーツ参画人口の拡大と、スポーツを通じた健康の増進が一緒にならないのか、といった意見があった。ここに至る前の経緯として、事務局と議論してきたが、一緒になるというところまで至らず、別にしていくという方針となった。すみ分けはしっかりしなければならないということで、事務局で P10 のポンチ図が作成された。これにより、スポーツ参画人口の拡大と健康の増進の2つの基本目標が別にしっかりすみ分けられていることが示されていると思う。

基本的には、スポーツ参画を拡大していき、「する・みる・ささえる」の3つの軸があり、そこに健康の増進と指導者の育成、子どものスポーツ活動の3つの軸が含まれる、ということになる。違和感なくすんなりみていただけるのでは、と思う。4つを並列に扱うかという点と違うかもしれないが、ベースには参画人口の拡大がある。特段違和感はなく、全体のイメージがつかみやすいと思う。

【事務局】 ベースとしてスポーツ参画人口の拡大、「する」だけでなく、「みる」「ささえる」という行為もある。「する」という部分について、子どものスポーツというのは、そこから競技スポーツに行くか、健康づくりに行くかというのは、未知数でありどちらも可能性がある。レベルの高い競技と健康づくりとはくっつかないと思い、結果このような図となった。重なる部分の色分けはきちっとしたい。

【委員】 分かりやすくなったと思った。「ささえる」と「みる」の記載場所が分かれているので、意味があるのかと思ってしまった。全体のスポーツ参画人口の拡大にかかるとすれば、一か所にまとめると良いのでは。

【事務局】 ※前回指摘を受けての修正、追記等について。

e スポーツについて。前回言われたように体を動かすようなものだけをとったが、バトルするような激しいものでなく、手指を動かすようなものは高齢者の認知の予防に良いのではないかと考えられる。現段階ではこれからの展開が分からないので、このような表現とさせていただいた。

P12 先週 F ユナイテッドと連携協定結んだがこういう形で今後、企業、プロスポーツの団体というところと連携しながら、スポーツの体験、交流、競技力の向上、指導者の育成につながっていく。それだけでなく地域づくりにも関係してくる。今まで大野市では、田舎なので企業とは難しいと思ったが、大野市でも可能であるので施策にいれさせていただいた。

その他の修正箇所

- ・ P1 計画の目的に、国の根拠となる法令を追加した。
- ・ P4 4 関連計画との位置付けの図を整理した。
- ・ P8～9 本計画で掲げる 10 年後の数値目標において、下記の 1 項目追加した。
スポーツ教室や各種スポーツ大会の実施現状：137 回（令和元年度）目標：年間 200 回（延べ数）
- ・ P11 取り組みに②ニュースポーツ等の発掘・推進に、e スポーツを追加した。
- ・ P12 取り組みに⑥企業等との包括連携協定を追加した。
施策(2) 子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進に、「日常生活でのちょっとした工夫が運動につながることの周知」を追加した。
- ・ P15 「基本目標 1 スポーツ参画人口の拡大」の施策を「基本目標 2 スポーツを通じた健康の増進」に関連のある施策を再掲した。
- ・ P18 ACP（ACP：アクティブ・チャイルド・プログラム）の注釈を追加しました。
- ・ P20 施策一覧表に、「する・みる・ささえる」のかかわり方と、各主体の役割を追加しました。

【委員長】 施策一覧表での☆、○を分けているのは意味があるのか。大きな問題はないが。

【委員】 水循環の計画を参考にすると、差をつけるものは◎、それ以外は○と表現している。参考にするとよい。再掲のところが元のものとはずれているので、合わせた方がよいのでは。あと、部署の名前が入っているのは意味があるか。市がやるものとすれば、部署の記名がなくてもよいのでは。部局が連携してやる、とうたってい

るので揃えた方がよい。

【委員長】 概要版については、追加等ないか。基本的に連動していると思うが。SDGsについては。

【事務局】 計画本文に併せて、概要版についてもSDGsを表記する。全体の体裁については整えていく。概要版についても、ある程度分かりやすい図を掲載していくつもりである。

【委員】 概要版の計画の協働とあるが、こういった言葉はあるのか。

【事務局】 この協働については、協力して動くという意味合いがある。あえて協力しながら進めるということでこの表現を使っている。

【委員長】 基本目標4にかかわることと、追記していただいたことについては、おおむねこの内容で問題なしでよろしいか。

もう一点について。P8あたりになるが、週1回スポーツを実施している市民の割合50%についてあるが、この中の「運動」の範囲をどうするか。前回の合同委員会では、健康おおの21策定委員会の方で、スポーツは競技志向、それだけではないご意見があった。使う言葉によって市民の方に受けるイメージが変わりアンケートに違った形で反映されるというのを避けなければならない。別資料にあるが、身体活動も計画に入れていくということもいいんじゃないかという意見もいただいた。

【事務局】 「健幸おおの21」と、スポーツの定義、範囲について今のところ、事務局同士の共通認識はとれている。

(「スポーツのイメージ図」についての説明)

この中で、「安静」にかかる部分が概念として難しいところ。「健幸おおの21」でも今のところこのように整理されている。

5年目のアンケートはレベルⅢまでと、日常生活における活動までを対象としたもので分けておく必要があると考えている。

P4のスポーツとはということに、P12の子育て・働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進にある、通勤などでの自転車利用の呼びかけ日常生活でのちょっとした工夫が運動につながることの周知などにより、働き盛り世代の運動の実践をうながします、とあるところが、スポーツの概念につながっていくことになると思う。

「安静」を除くこととしたい。

スポーツのイメージ図において、「みる」「ささえる」アンケートの現状は40.6%はⅢまで、ここまでと示す。そうでないと数値目標の現状と合わなくなっている。ⅣがⅢになっていく。Ⅳまでをスポーツとしてとらえる。

【委員】イメージ図を入れる場所は。

【事務局】P4の「本計画におけるスポーツとは」の下が妥当である。「図」において「安静」をとる。今後、委員長とつめさせていただきたい。

P8の数値目標「週1回以上スポーツ(運動)を実施している市民」の表現でも、自らが意識して行う運動。とすれば迷いはないのでは。

【委員】成人は20歳なのか。

【事務局】前回のアンケートの踏襲である。18歳以上として検討したい。

【委員】P2アンケートのグラフの棒の色が上下で違う。

【事務局】修正する。

【委員】P9のスポーツ教室や各種スポーツ大会の実施について追加した理由は。また、記載される現状の数値の根拠が分からない。

【事務局】スポーツ教室や各種スポーツ大会の実施については市民対象である。分かりやすく表現する。

【委員】主催は市ということなら、市が開催した数値になる。本来ならKPIの流れによって、団体がどれだけ動いたかが、一般的な数値目標の立て方である。

【事務局】市で開催した数値になる。